

本稿は、バンク・オブ・アメリカが2015年5月19日に発表した英文プレスリリースを翻訳したものです。英文の原文と翻訳内容に齟齬がある場合には原文が優先します。なお、英文プレスリリースは、バンク・オブ・アメリカのニュースルーム <http://newsroom.bankofamerica.com> でご覧いただけます。

平成27年5月20日

報道関係者お問い合わせ先：  
メリルリンチ日本証券 広報部  
03 6225 7550

**BofAメリルリンチファンドマネジャー調査：  
債券安を受け、選別的なリスク圧縮に動く投資家**

*FRB 利上げ開始は15年第4四半期との予想が増加*

[ニューヨーク、2015年5月19日] - バンクオブアメリカ・メリルリンチが発表した5月のファンドマネジャー調査によれば、グローバル投資家は特に米国において相対的に高リスクのエクスポージャーへの選好を弱めています。

差し引き47%の回答者が引き続き株式を「オーバーウエート」としていますが、これは前月と比べて7%ポイントの減少です。米国株への買い意欲は大幅な「オーバーウエート」が続いていた第1四半期から一転、差し引き19%の「アンダーウエート」まで低下しました。米国企業の収益性への確信も弱まり、収益見通しが最も良好な地域に米国を挙げた投資家はわずか7%にとどまりました。また、ファンドマネジャーは、ポジションの積み上がりに最も過熱感があるトレードは引き続き米ドルのロングとみています。もっとも、このような見方は41%と、前月比では大きく減少しました。

一方で、キャッシュのポジションは「オーバーウエート」が急増しています。5月調査では、差し引き23%と、2014年12月以来の高水準となりました。

こうしたシフトは最近の大幅な債券安を受けています。今回の調査では、2015年のボラティリティに対して最も脆弱な資産クラスは債券と考える回答者が急増し、56%に達しました。債券の「アンダーウエート」も増加しました。

投資家のマクロ経済に関する見方は前月からほとんど変化していません。なお差し引き59%が世界経済は今年、「強まる」と予想しています。ただし、企業の収益性に関する予想は若干低下しました。70%の回答者が成長率、インフレ率ともに今後12カ月、過去のトレンドを引き続き下回るとみえています。

しかし、米国の利上げ開始時期を巡る見方が二分する傾向が強まっており、今月の調査では、第4四半期を予想する投資家は36%と、第3四半期の45%に迫る勢いとなりました。

BofA メリルリンチ・グローバルリサーチのチーフ・ストラテジスト、Michael Hartnett は、「経済回復への自信は失われておらず、ポジショニングは引き続き米ドルの上昇を想定したものとなっているが、疑念が忍び寄ってきたことで、キャッシュ配分の急増につながった」と述べています。欧州株ストラテジー責任者、James Barty は次のように述べています。「当面、投資家が欧州株に注目する姿勢に変化はないが、これは為替に着目した動きという面が依然強い。」

## 引き続き選好される欧州と日本

米国株は投資家の確信が弱まり、差し引き 39%が今後 1 年間に「アンダーウエート」とする考えを示しているのとは対照的に、投資家はともに量的緩和を継続している欧州と日本に対してはポジティブな見方を維持しています。欧州市場は差し引き 49%、日本市場は同 42%のファンドマネジャーが「オーバーウエート」としています。

また、欧州は今後 12 ヶ月間に「オーバーウエート」にしたいとする投資家が引き続き最も多い市場です。こうした投資家はなお差し引き 33%にのぼります。とは言え、非常に高水準だった 3 月に比べれば 30%ポイントもの減少です。

今後 1 年間に最も選好する市場に日本を挙げた投資家は差し引き 18%です。前月と比べて若干減少しました。

一方で、ファンドマネジャーは新興国に対するネガティブな見方を弱めており、「アンダーウエート」は差し引き 6%にとどまりました。4 月は差し引き 18%でした。同様に、今後 1 年間に新興国株を保有する考えも増加しています。

## 英国が好転

英国の先の選挙が決定的な結果に終わったことを反映し、英国資産に対する投資家のスタンスはよりポジティブになりました。グローバル投資家の間で英国株の「アンダーウエート」が前月と比べて半減する一方、差し引き 3%の欧州ファンドマネジャーが今後 12 ヶ月間に英国市場を「オーバーウエート」とする考えを示しています。前月は差し引き 50%が今後 12 ヶ月間に「アンダーウエート」とするとしていました。

同様に、英ポンドは過大評価されているとする見方が著しく後退しました。4 月は差し引き 15%のグローバル・ファンドマネジャーが過大評価としていたのが差し引き 8%にとどまりました。

## 為替との相関

投資家の主要通貨に対するスタンスと株式のポジショニングの間には相関性が認められます。差し引き 69%が米ドルは今後 12 ヶ月間に上昇すると予想しています。4 月と比べて若干増加しました。対照的に、ユーロは差し引き 32%、円は差し引き 35%が下落を予想しています。円に弱気な見方は 3 月から 16%ポイント増えました。

一方、原油に対する強気の見方は後退しました。12ヵ月後に原油価格が上昇していると予想するファンドマネジャーは半数を割り込み、4月と3月の64%から大幅に減少しました。

## BofA メリルリンチファンドマネジャー調査

5 月調査は 5 月 8 日から 14 日までの期間に実施されました。全体で 208 人の機関投資家が参加し、これらの機関投資家の運用資産総額は 6,070 億ドルに達します。その中で

グローバルな質問に回答した機関投資家は 169 人で、運用資産総額は 4,790 億ドル。特定地域の質問に回答した機関投資家は 94 人、その運用資産総額は 2,240 億ドルでした。調査は BofA メリルリンチ・リサーチが市場調査会社の TNS の協力の下に実施しました。TNS は 50 カ国以上を網羅する自社の国際ネットワークを通じ、80 カ国以上で国内・国際組織にマーケット情報を提供している世界第 4 位のマーケット情報グループです。

#### BofA メリルリンチ・グローバルリサーチ

BofA メリルリンチ・グローバルリサーチは世界の 3,400 銘柄を超える株式と約 1,100 銘柄超のクレジットを調査対象とし、多くの機関によるランキングで上位に選出されています。直近では、インスティテューショナル・インベスター誌の 2014 年世界の調査部門第 1 位、2015 年 All-Europe Fixed Income 調査で第 1 位、2014 年 All-Europe 調査で第 1 位、2014 年欧州・中東アジア新興国調査で第 1 位、2015 年 All-Asia 調査で第 2 位、2014 年の All-America 調査で第 2 位に選ばれました。また、同誌の 2014 年の All-China 調査で第 2 位、2014 年の All-America Fixed Income 調査で 3 年連続の第 2 位となりました。

#### バンク・オブ・アメリカについて

バンク・オブ・アメリカは世界最大の金融機関の一つであり、個人、中小企業、機関投資家、大企業及び政府を顧客とし、銀行業務、投資業務、資産運用業務、その他の財務管理及びリスク管理のための商品やサービスを幅広く提供しています。米国では、約 4,800 店のリテール銀行支店、約 15,900 台の ATM、また現在 3,100 万人のユーザーが利用し、受賞歴もあるオンライン・バンキング、1,700 万人以上が利用するモバイル・バンキングを通じ、約 4,800 万の個人や小規模企業の顧客と取引を行っています。バンク・オブ・アメリカは世界有数のウェルス・マネジメント会社であるとともに、企業金融、投資銀行、広範な資産クラスにわたるトレーディングにおいても世界的なリーダーであり、世界中の企業、政府、機関、個人などにサービスを提供しています。同社は、革新的でありながら利用しやすいオンラインの商品やサービスにより、約 300 万人の小規模事業主の顧客に対して業界有数のサポートを提供しています。バンク・オブ・アメリカは、50 州すべて、コロンビア特別区、米国領ヴァージン諸島、プエルトリコ、および 35 カ国以上で顧客事業を展開しています。バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの株式(取引略号: BAC)はニューヨーク証券取引所に上場されています。

バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションがグローバル・バンキング及びグローバル・マーケットズ事業を行うための営業上のブランド・ネームです。貸出、デリバティブなどの商業銀行活動は、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションのバンキング関連会社(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)が実施しています。これには、FDIC 加盟銀行のバンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイが含まれます。証券、財務アドバイザーなどの投資銀行活動は、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの投資銀行関連会社(投資銀行関連会社)が実施しています。これには、メリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが含まれ、これらは FINRA(米国金融取引業規制機構)及び SIPC(米国証券投資者保護公社)加盟の登録ブローカーディーラーです。投資銀行関連会社が提供する投資商品は FDIC の保険対象ではなく、損失が生じることがあり、銀行による保証はありません。

バンク・オブ・アメリカのさらなるニュースについては、バンク・オブ・アメリカのニュースルーム(<http://newsroom.bankofamerica.com>)をご覧ください。

[www.bankofamerica.com](http://www.bankofamerica.com)